

見えない資産が、 最大の脆弱性になる

PentaTrail — AIネイティブの CTEM / ASM プラットフォーム

PentaTrail とは

外部に公開されたドメイン・IP・ポート・クラウド資産を、継続的に発見・評価・対処する CTEM / ASM プラットフォームです。管理台帳に載っていない"見えない資産"こそ、攻撃者が最初に狙う場所。攻撃者と同じ視点で、あなたの攻撃面を毎日監視し、危険な順に「まず直すべき」を示し、経営に数字で報告します。

0日

公開から大規模悪用までの猶予

エッジ機器の KEV(悪用が確認された脆弱性)の、公開から大規模悪用までの中央値／Verizon DBIR 2025

84%

外部公開機器からの侵入

ランサム侵入経路が VPN・リモートデスクトップ等の外部公開機器／警察庁 2025上半期

73%

管理外資産が原因

未把握・管理外の資産に起因するインシデントを経験した責任者の割合／Trend Micro・CSO Online 2025



Figure 1 — 経営ダッシュボード。セキュリティスコア(前回比)・危険度分布(S~D)・リスクマトリクス・KEV・AIによるCISO向けインサイトを一枚で。「我々は安全か／改善しているか／新しい脅威は」に数字で答えます。

USE CASES

主なユースケース



外部攻撃面の継続監視

シャドーIT・未管理サブドメインを自動発見し、変化を追跡



クラウド露出チェック

AWS/GCP/Azure の公開バケットや意図しない公開資産を検出



M&A デューデリジェンス

買収先の外部資産を1枚のスコアで経営層に提示



少人数運用の補完

1人情シスでも、継続的な攻撃面管理を回せる



取引先セキュリティ評価(SCS等)への対応

経済産業省の評価制度など高まる要求に、自社の外部露出を客観的な証拠で提示

WHY PENTATRIL

PentaTrail の違い

違い	なぜ効くか
AIネイティブ設計	探索は確定的技術に任せ、AIは実証・対処ガイダンス・経営サマリーに集中。専任を雇えない組織でも、人手をかけずに攻撃面を回せます。
確定的な Discovery	DNS・CT Log・WHOIS・逆引きIP。AIの推論に依存せず、技術的に裏付けのある結果だけを報告します。
日次スキャン	月次・年次の定期診断と異なり毎日スキャン。翌日には変化を検知。週次診断では最大7日、見えないままです。
非破壊で実証 (AIディープスキャン)	AIが検証コードを自動生成し、非破壊で攻撃の"成立"を確認。誤検知を減らし、本当に危ないものだけに集中できます。対象は所有証明済みドメインに限定し、システムに影響する操作は不採用。
優先順位づけ	CVSS・EPSS・エビデンスグレードから脅威ディスカバリレベルを算出し、業務影響(BI)を掛けて脅威エクスポージャーリスクを算定。S〜Dで「まず直すべき順」を示します。
API / MCP 連携	自社のAIエージェントから攻撃面データを直接取得。SIEM・チケット連携まで自動化できます。



Figure 2 — AI対処ガイダンス。脆弱性ごとに「影響・対処方針・暫定緩和策」をAIが生成し、対応状況を追跡。ワンクリックでPDF化して現場・経営に配布できます。

CTEM FRAMEWORK

見つけて終わりにしない — CTEM 全5段階を回し続ける

一度きりの診断ではなく、5段階を継続的に反復して攻撃面を縮小します。プランごとのカバー範囲は下表のとおりです。

	1	2	3	4	5
SCOPING 範囲確定 監視対象を確定	DISCOVERY 自動発見 外部資産を洗い出す	PRIORITIZE 優先順位 危険な順に並べる	VALIDATION 実証 悪用できるか確認	MOBILIZE 対処・報告 直しきり経営へ	
プラン別カバー範囲	①範囲確定	②発見	③優先順位	④実証	⑤対処・報告
ASM(見つける・狙われやすさ)	✓	✓	危険度づけ	—	AIガイダンス閲覧
CTEM(実証・直す・報告)	✓	✓	✓	✓	✓

PRICING

シンプルな2プラン

	ASM ¥40,000/月 見つけて、監視して、危険な順に並べる	CTEM ¥68,000/月 実際に確かめ、直しきって、経営に見せる
外部資産の自動発見・日次スキャン	✓	✓
危険度づけ(KEV / EPSS / BI)	✓	✓
AI 対処ガイダンスの閲覧	✓	✓
脆弱性の実証(Validation)	—	✓
対処タスクの運用・追跡	—	✓
経営報告レポート(スコア・トレンド)	—	✓
API / MCP 連携・ドメイン3つ・5ユーザー込み(サブドメイン無制限)	✓	✓

表示価格はすべて税抜・月額。攻撃面が広い会社ほど、1資産あたりの負担は軽くなります。

まずは自社の攻撃面を、外から確かめる

最短5分で登録でき、数時間で初回の攻撃面が見えます。

①登録(5分) → ②自動発見(数時間) → ③確認(その場で可視化)



pentatrail.co/ctem

14日間 無料トライアル

会社名 株式会社ペンタコン研究所（Pentacon Research, Inc.）

代表取締役 平舘 一哉

設立 2026年2月

資本金 1,000万円

本店所在地 東京都中央区日本橋茅場町二丁目17番6号

事業内容

1. 情報セキュリティ分野における SaaS の企画・開発・提供
2. 情報セキュリティ分野における調査・分析・コンサルティング
3. 情報システム・クラウド・AI 関連技術の研究開発



代表取締役 / CEO

平舘 一哉 Kazuya Hiradate

野村総合研究所入社後、NRIセキュアで20年以上サイバーセキュリティ事業に従事。マネージドセキュリティサービス事業やコーポレートセキュリティ管理部門で部長を歴任。その事業開発およびガバナンスの知見を、AI駆動開発の設計思想として PentaTrail に実装しています。

MISSION / 使命

見えないリスクに気づける力を、すべての組織に。

AI駆動開発による徹底した省力化と、コーポレートセキュリティの実務経験に裏打ちされた技術力で、続けられるセキュリティを届けます。

VISION / 目指す姿

セキュリティが空気のように溶け込む社会へ。

誰もがセキュリティを意識せずとも、サイバー空間の安全を享受できる世界を実現します。